

1. 教員および授業の概要

① 教員名： 建井 順子 (TATEI Junko)

② 担当科目

- ・ 博士前期課程：北東アジア専門講義 8 (北東アジア経済研究)
北東アジア研究指導 I~IV

③ 教員のプロフィール

- ・ 東京大学大学院経済学研究科博士課程満期退学
 - ・ 博士 (経済学)
 - ・ 専門は地域経済学、地域産業論
- ※詳しくは、research map (<https://researchmap.jp/j-tatei>) を参照いただきたい。

④ 所属学会

日本地域経済学会、経営史学会、日本地域政策学会、日本フェミニスト経済学会、国際ジェンダー学会

⑤ 研究領域や関心をもっているテーマ

- ・ アジア経済と日本 (特に地方圏) のサプライチェーンの変遷
- ・ 人口縮小下の地域産業の今日的展開
- ・ ジェンダー視点による地域開発の捉え直しと新規産業創出
- ・ 起業家の多様性と地域活性化

⑥ 研究指導方針

多角的で重層的な研究手法を推奨している。第一に、同一の研究対象に対して、核となる学問領域を優先しつつも、学問領域の異なる接近法を用いた実証も試してほしい。第二に、調査手法に関して、量的調査と質的調査 (フィールド調査) のいずれかの手法に偏ることは仕方がないにせよ、いずれの手法も用いて調査してほしい。こうした多角的で重層的な研究手法を用いることにより、研究対象の解像度を上げ、特定の学問領域の先行研究で看過されていた部分を照らし出すことができるだろう。院生にはこうした方法論を伝授していきたい。

⑦ 指導可能な研究テーマ

- ・ 東アジア圏と日本に関する経済問題 (金融、貿易、産業構造)
- ・ 地場産業・伝統産業の今日的展開

- ・地域間（特に都市部と地方部）格差
- ・ジェンダー視点に立った経済分析
- ・国・地方自治体のイノベーション政策

2. 研究業績リスト

(著書)

- 1 (共著) 澤俊晴・西村武司編『事例に学ぶ地域づくり』(大学教育出版、2021年)
- 2 (共著) 白井信雄・中村聡志・松尾純廣編『地域マネジメント草書：岡山の地域づくりに学ぶ』(大学教育出版、2019年)
- 3 (共著) 東大社研・玄田有史編『希望学あしたの向こうに：希望の福井、福井の希望』(東京大学出版会、2013年)
- 4 (共著) 竹内宏・末廣昭・藤村博之編『人材獲得競争：世界の頭脳をどう生かすか!』(学生社、2010年)

(論文)

- 1 「日本の起業活動の男女間格差と非三大都市圏の女性起業支援策」
『アジア女性研究』第33号、pp.1-22、2024年3月
- 2 「イノベーション概念の変遷に関する一考察－昭和29年度から令和元年度までの『経済白書/経済財政白書』を対象として－」
『山陽論叢』第26号、pp.125-135、
2020年3月
- 3 「成長する個別企業、縮小する地場産業－福井県鯖江市の眼鏡産業－」
博士論文、2016年3月
- 4 「同床異夢－漆器産地の行方－」『東京大学社会科学研究所リサーチシリーズ』第58号、pp.1-109、2015年3月

3. 学生に対するメッセージ

研究は地味な作業の繰り返しである。例えば、資料収集、フィールド調査にあたっては、交通手段と宿泊先を確保し、情報保有先のアポをとり、国内外を問わず、現地を訪ねて情報収集する。収集した情報は、整理・加工・分析が必要であるが、そうした作業は一定の労力と時間を要する。整理・加工・分析したデータをもとに議論を構築した後は、ゼミ・研究会を通じた教員、研究仲間との議論が必須である。議論をとおして自分が立てた論理の欠陥を指摘され、ゼロからやり直すことも少なくない。こうした地味な作業をコツコツとこなし、自分の関心を特定地域、一国単位の利害の範囲に留めず、世界規模で取り込まれるべき根源的課題へとつなげ、その解決に向けて真摯に取り組んでくれることを院生には期待する。